

## 船舶事故調査報告書

平成25年2月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	ウェイクボーダー負傷
発生日時	平成24年4月30日（月、休日） 11時30分ごろ
発生場所	沖縄県 <sup>おきな</sup> 恩納村サンマリーナホテル前のビーチ沖 恩納村所在の <sup>まえがねく</sup> 前兼久港北防波堤灯台から真方位036° 1.0海里 付近 (概位 北緯26° 27.7' 東経127° 48.6')
事故調査の経過	平成24年5月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ サンマリーナ7号、0.2トン 296-23289 沖縄、サンマリーナ・オペレーションズ株式会 社（A社） 2.93m (Lr) × 1.16m × 0.44m、FRP ガソリン機関、96.4kW、平成18年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 23歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成20年6月5日 免許証交付日 平成22年9月21日 (平成27年9月20日まで有効) ウェイクボーダー 男性 24歳
死傷者等	軽傷 1人（ウェイクボーダー）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、サンマリーナホテルのビーチと外海とを仕切る防波堤との間の海域（以下「遊走区域」という。）において、客1人（以下「ウェイクボーダーA」という。）が立った状態のウェイクボードをえい航して約12km/hの速力で遊走していた。 船長は、防波堤との距離を目測しながら操船していたところ、防波堤に接近して右旋回をしたが、ウェイクボーダーAが、防波堤への衝突の危険を感じて握っていたハンドルを放して滑走し、平成24年4月30日11時30分ごろ防波堤に衝突した。 ウェイクボーダーAは、約2週間程度の安静加療を要する右半身擦過傷及び右手関節に打撲傷を負った。

<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 南西、風力 4、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本事故当日は外海が荒れ気味であり、船長は、遊走区域（長径約200m、短径約100mの楕円形）でウェイクボードを時計回りにえい航して遊走していた。</p> <p>ウェイクボーダーAは、ジャージのズボンと救命胴衣を着用し、本船の船尾のアイに取り付けられた直径約15mm、長さ約20mの浮揚性ロープの先端に固定された一辺が約40cmの三角形のハンドルを握り、裸足で長さ約140cm、幅約40cmの固定式のブーツが取り付けられたウェイクボードに乗って本船にえい航されていた。</p> <p>船長は、マリン関係の専門学校を卒業してA社に採用され、3年程マリンレジャー船の船長をしており、ウェイクボーダーAに陸上でウェイクボードに立ち上がる練習を10分程させた後、遊走区域でウェイクボードに乗せてえい航しており、その際の注意事項とし、転倒しそうなときは、ハンドルから手を放してよいと教えていた。</p> <p>ウェイクボーダーAは、ウェイクボードに乗るのは初めてであり、海上でウェイクボードの上に立ち上がれるようになり、2周目で本事故が起きた。</p> <p>船長及びウェイクボーダーAは、救命胴衣を着用していた。</p>
<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>本船は恩納村所在のサンマリーナホテルの遊走区域でウェイクボーダーAが乗ったウェイクボードをえい航中、船長が防波堤に接近して右旋回をしたことから、ウェイクボーダーAが防波堤への衝突の危険を感じ、握っていたハンドルを放して滑走し、防波堤に衝突したものと考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が恩納村所在のサンマリーナホテルの遊走区域でウェイクボードをえい航中、船長が防波堤に接近して右旋回をしたため、ウェイクボーダーAが、防波堤への衝突の危険を感じ、握っていたハンドルを放して滑走し、防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船長は、遊走中はウェイクボーダーの状態を確認するとともに、構造物等との安全な距離を保つこと。</li> </ul>